



3 月2日(木)、2年生の個人探究代表者による発表会を行いました。昨年度までの探究学習はグループ探究のみでしたが、今年度の2年生は個人探究に取り組みました。1年生で取り組んだグループ探究のテーマを参考に、個人でテーマ・課題設定をしてきましたが、そのテーマ・課題設定が難しく、それぞれが果敢に挑戦したものと思います。2月9日(木)に学年全員が発表し、その中から各クラス2名に選ばれた代表者10名が発表しましたが、その他の取組も校長室の前や会場の体育館に張り出され、頑張っている様子がうかがえました。

発 表の内容は、どれも興味を引く内容であり素晴らしいものでした。一部の内容となりますが紹介します。2A伊藤君と2E中野君の伊那新校に関わる「リラックスできる学校生活」「学びに適した環境とは？」は、学習塾の講師から聴き取りをしたりして一人で学べる場所、教え合える場所両方が必要、高校生の意見で学校を変えていくという心強い提案がありました。大人だけが考える伊那新校ではなく、新しい学校を高校生も一緒に作りあげられるようにしていきたいとあらためて考えさせられる内容でした。

2E石川さんの「究極の草とは～野草からお茶を作る～」では、その辺にある雑草から実際にお茶を作り、実際に試飲した結果を草のお茶のランキングにした面白い取り組みでした。助言者の信大の細見先生から「こういう探究であれば入試でアピールになる」とコメントをいただきました。

今回、ゲスト発表者として伊那北高校2年生の北原さんが参加してくれ、「妖怪の正体が知りたい！～妙薬を伝えた河童～」というテーマで発表してくれました。テーマ設定が面白く、駒ヶ根市の「おもしろかつぱ館」に出向いて取材し、さらに個人で調べ上げて考えを展開していました。お隣の学校の探究の学びを聞いたことは有意義でした。

前日、卒業式を終えた3年生の中村さんも自分の取組を披露し、探究から学んだことから自身の進路につなげた話も後輩には参考になったことと思います。



2E中野君「リラックスできる学校生活」



郷土愛プロジェクトの田畑さんの助言を聞く

信 大の荒井英治郎先生は、最後の総評で、「探究の楽しさは、①達成感、②理解できたこと、③オリジナルの着想、④貢献できたという思いのうちのどの部分であったか」との問いかけがあり、「探究から得られることは、多様な人とふれあうことで自分を考える機会となっている。発表するということは、経験したことから何を感じ、何を考えたのかを他者にどのように伝え、他者がどう納得してくれたかである」という解説でした。この発表会で発表者と助言者のやり取りを通して実感できたのではないかと感じました。